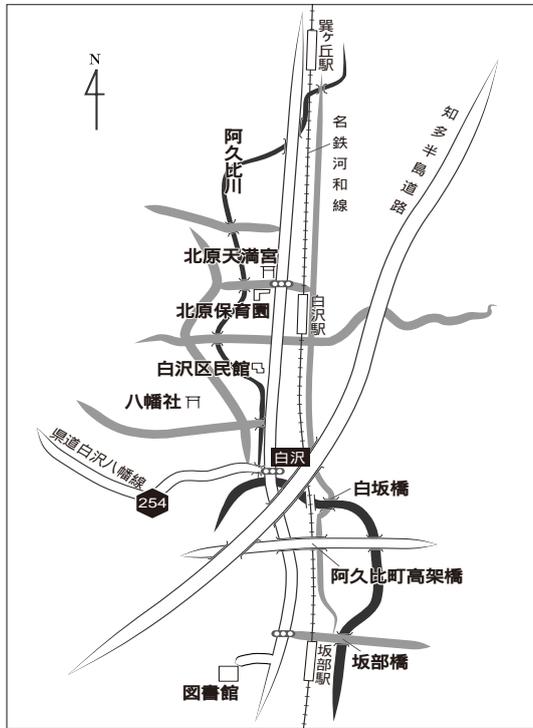


# シリーズ

## 阿久比を歩く ⑨⑤



枯れ草の間から顔を出すセイヨウタンポポ

坂部駅からさらに北上を続ける。今日は二月十四日、世間ではバレンタインデー。私はこの日あまりときめかなくなつた。こんな日に僕と二人で大丈夫?。「ええ。大丈夫です」。なんとなく友人に落ち着きがない。昨日の雨も上がった。風は少し強いが、日差しは春の陽気。今の時期例年ならもう少し寒い日が続いているはずだがとても暖かい。畑に植え

# 鉄道沿線を歩く ③



られた梅の木にかわいらしく花が咲く。ほとんどのつぼみに色が付き、満開になる日も近い。田んぼにハトが群れを成す。どのハトも同じ動きで、首を動かし、くちばしで土の中を突つつく。電車が通っても飛び立とうとしない。「電車の音にも気付かないくらい、夢中でえさを探しているのかなあ」。私の問い掛けに、「冬の間は食べ物がなくて腹ペコなんですよ。平和の象徴」のハトですから手を出せば寄つて来ますよ」と友人が近づいた瞬間、ハトたちは一斉に空へ飛び上がる。ハトたちの邪魔をしまつたようだ。前方に西尾知多線が東西に伸びる。高架橋に差し掛かり、真つすぐ通り抜けできないので、進行方向右手に流れる阿久比川沿いに出る。川の流れと逆方向に歩を進め、知多半島道路をくぐり、再び細い道を線路と平行に歩く。土手でセイヨウタンポポを見つけた。枯れた雑草の間から茎が伸び、鮮やかな黄色い花



目の前を通過する電車

が咲く。所々で春の息吹を感じる。白沢駅近くで、南へ向かう黒いボデイの電車とすれ違つた。「あの電車きつとセントレア行きですよ」と友人が言うので、「それは違つなあ」と私は返す。なぜなら名鉄河和線で南に向かう電車は、絶対にセントレアには行かないからだ。危うく友人の思いつきの言葉を信じてるところだった。鉄道の沿線を阿久比町の南から北の端までを歩く「ぶらり旅」もゴールが見えてきた。間もなく巽ヶ丘駅。「今思ったんですが、線路はチョコレート色ですよね。」「君、かなりパレンタインデーを意識しているね。ここで終わりだから早く帰つたら。」「もうそんな年じゃないですよ(笑)」。目を合わせないで話す友人が気になった。